

＜学校教育目標＞自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

め の と

5月 皐月
梅雨入り 号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和3年5月20日 文責 校長：松田伊知郎

＜めざす児童像＞

① あてを立ててすすんで学ぶ子

② そみをもってたくましく生きる子

③ もだちとみがきあう思いやりのある子

先日、九州北部は観測統計史上2番目に早い『梅雨入り』となりました。統計でこれまでの梅雨の様子を見てみると、早い梅雨入りが早い梅雨明けになるとは限らず、長雨や豪雨に伴う危険性も心配されます。特に最近では、『ゲリラ』と名がつくような極端な降雨も、それに伴う水害や土砂災害も、毎年、全国の数か所で起きています。『備えあれば憂いなし』という言葉のとおり、心身や物品の『備え』は大切です。しかし、昨今の災害はその想定をはるかに超えるものも多くあります。学校でもマニュアル作りや様々なケースを想定した訓練を行います。御家族でも防災や減災について話題にし、心のもち方や連絡方法、細かな行動を御確認ください。

『ステージ5』になった新型コロナ関係の心配は、まだまだ続くようです。医療体制も緊迫した状況になっていますし、5月19日から教育活動等の制限もついに『レベル3』になりました。学校における感染拡大防止の「レベル3」は最高レベルです。

～ 防災(危険箇所)について ～



先日、育友会生活指導部による校区内危険箇所点検結果のお便りを見せていただきました。地図までつけていただき、細部にわたって詳しくまとめられている素晴らしい資料に驚きでした。

猪など鳥獣の出没もあり、遭遇した時の対処法を知ることが重要であると感じました。基本は、どんな鳥獣でも『騒がない』『威嚇しない』『食べ物などを与えない』『慌てて逃げ出さない』などです。御家庭でも鳥獣の種類に応じた具体的な話をしてみてください。

更に、小さな交差点がいくつもあり、見通しが悪くて歩道がない(路側帯のみ) 通りが多いこと、時間帯によっては通りの交通量がかなり多くなることなど、「交通事故」につながるようなことも多くありました。危険な所は、改修を行ったり、補修等を行ってもらうように関係機関に働きかけたりして、『物的要因』を改善することができるように働きかけたいと思います。

但し、同じ場所でも危険な目にあう人とそうでない人はいます。安全に生活するためには『人的要因』を整えることです。学校でも御家庭でも、安全な生活につながる行動を指導していきましょう。

～ 梅雨時期の過ごし方について ～

梅雨の天候は、植物にとっては恵です。正門の紫陽花もきれいに色づき始め、風情を感じますが、子供たちには雨が降るときは傘を差したり合羽を着たりして、濡れないようにしてほしいと思います。

気を付けて生活をしていても、この時期は、健康管理も安全管理も難しい時期です。特に『湿度の高さ』は『気温の高さ』に増して体調管理が難しいものです。『梅雨寒』にも注意です。じめじめとした気持ち悪さだけではなく、屋内にいても結露で滑ることもありますし、カビによる食物の腐敗にも子供も大人も気を付けなければなりません。

また、坂が多い地形では、災害級の降雨ではなくても側溝が氾濫するほどの速い流れになりやすいものです。いくつかの流れが集まるころでは、本流の流れが速すぎて細い流れからの水が合流することができず、道路にあふれ出ることもあります。グレーチングや溝蓋がないところで靴や傘などを差し込むと、人間の力では耐えることができないほどの力で水に引っ張り込まれることになります。

身近にあるいろいろな危険に敏感になって早めに察知し、回避していきたいものです。

警報発令などの折に『登校見合わせ』『下校時刻変更』などの措置をとることもあります。安心メールなどでの緊急連絡に留意いただき、御協力をお願いします。

～ レベル3への本校の対応について ～

先日、御家庭へのお願いという形でもお知らせしております。レベルが3になったことに伴い、再度、学習活動の制限等についての確認をします。ウイルスを受けるリスクを避けるため、『飛沫ができるだけ飛ばないように』、また、飛沫を受けないように『距離・間隔をとる』『短時間』などが基本です。御家庭で同様の学習を行う際の参考にしてください。なお、間もなくエアコンを使用することも出てきますが、その場合も換気を行います。

1 各教科

- 各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」(★)
- 理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- 音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」(★)
- 図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- 家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」(★)
- 体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」(★)や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」(★)

※ 上記の活動について可能なものについては、単元の入替え等により対応することもあります。音楽については、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏の学習では、「運指」の練習を中心にしたり、音を出す児童をパート別にしてするなど一部に限定することで距離や間隔を十分にとったりします。

※ 体育の授業内容についてはなるべく個人で行う活動としますが、運動会練習等の集団で行う活動については距離や間隔を十分にとって行います。また、呼気が激しくならない軽度な運動の際や身体へのリスクを考慮してマスクを着用しないこともあります。授業前後の着替えや移動の際や、授業中、教師による指導内容の説明やグループでの話合いの場面、用具の準備や後片付けの時など、児童生徒が運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用します。

2 部活動（社会体育等のクラブも同様にお考えください）

可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動してください。密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声したりする活動は行わないでください。他校との練習試合や合宿等は実施してはいけません。

3 給食

食事の前後の手洗いを徹底します。会食では、机を向かい合わせにせず、会話を控えるなど飛沫を飛ばさないような対応をしています。また、食事後の歓談時にはマスクを着用します。給食後等に、学校で歯磨きや洗口を行う場合は、お互いに距離・間隔を空けて換気のよい環境で行います。

4 図書館

図書館利用前後には手洗いをします。また図書館内での密集を生じさせない配慮をします。

5 清掃活動

掃除は、換気のよい状況で、マスクをした上で、「もくもく」と行います。掃除後は、必ず石けんを使用して手洗いを行います。

6 休み時間

休み時間も原則的にはマスクを着用します。

